

平成 15 年 12 月 3 日

正会員本社 各位
(写：各事業所責任者各位)

(社)日本添乗サービス協会
添乗員厚生委員会委員長代行
足田 誠司

「セクシャルハラスメント対策セミナー」開催に伴う事例調査について(ご依頼)

派遣添乗員を取り巻く労働環境の改善が進まず課題が山積する中で、女性の就業比率が大半を占める当業界ではセクシャルハラスメントも業界全体が改善に向けて取り組まなくてはならない大きな課題です。

平成 12 年に 600 余名の回答を得たアンケート調査(要旨同封)及び前々回から質問項目に加えた派遣添乗員労働実態調査においても実に 7 割近い添乗員が添乗中セクハラ的行為を受けたことがある、と答えています。被害を被った比率の高さ以上に注視しないといけないことは、その行為の悪質さであり、昨年度東京、大阪で実施しました「セクハラ対策セミナー」の専門講師も異口同音に他の業界では考えられない傾向であると述べていました。単に、旅行中という特殊な環境において、「旅の恥は掻き捨て」とか「酒の上の出来事」などで片付けられる問題でないことは、日頃添乗員の方々と身近に接している会員各位が最も切実に感じていらっしゃるかと思います。

TCSA では旅行業界団体への申し入れ、マスコミへの実態の開示等改善に向けて活動を続けていますが、添乗員厚生委員会としても、昨年度に引き続き明年度に対策セミナーを実施することといたします。

セミナーを実施するにあたり、前回の反省として社会一般上のセクシャルハラスメントに対する対応策でなく、この業界特有の事例に基づいた対応策を研究すべき、との声が多くありました。

つきましては、会員各社で過去に実際に起きた事例を基に、その対応方の成功例、失敗例及びその後の結果等を集約し、セミナーの教材といたしたいと思えます。

教材として使用するにあたっては、プライバシーの保護について万全を期すとともに、セミナー参加者だけでなく、会員各社及び関係先に広く改善のための参考資料として活用させていただきます。

会員各位におかれましては、業界の積年の課題解決に向けてぜひともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

別紙回答書に該当事項をご記入の上、**平成 16 年 1 月末日までに** TCSA 事務局へ同封返信封筒にて郵送願います。

今回の調査に関してご不明な点、ご質問等は TCSA 事務局までお問い合わせ下さい。

セクシャルハラスメント事例

平成 年 月 日

会社・事業所名		担当者名	
---------	--	------	--

* 資料として使用の場合は、会社名等は開示いたしません。

添乗員より報告又は判明した過去の事例及びその対処方、解決方法等を記入下さい。

発生時期、場所、相手先、現場状況、報告実態、対処成功例、失敗例、その後の処置等記載できる範囲で自由に記入願います。又、セクハラ行為の撲滅に対してのご意見がありましたら併せて記入下さい

*用紙が足りない場合はコピーしてご記入ください